

# 設定方法\_①管理用通信を無効化

- 1 GUIでの設定方法
  - 1.1 作業対象のSNIPを確認
  - 1.2 SNIPの編集画面を開く
  - 1.3 SNIPの詳細設定を確認
  - 1.4 SNIPのmanagement accessを無効化
  - 1.5 無効化設定の確認 1
  - 1.6 無効化設定の確認 2
  - 1.7 設定の保存
- 2 CLIでの設定方法
  - 2.1 作業対象のSNIPを確認
  - 2.2 SNIPの詳細設定を確認
  - 2.3 SNIPのmanagement accessを無効化
  - 2.4 無効化設定の確認 1
  - 2.5 無効化設定の確認 2
  - 2.6 設定の保存
- 3 改訂履歴

## GUIでの設定方法

以下操作は、NetScalerに対しhttpもしくはhttpsでログインした場合の設定方法を記載します。

### 作業対象のSNIPを確認

System>Network>IPsに画面遷移し、NetScalerに登録されているIPアドレスを確認します。

TypeがSNIPとなっているアドレスのうち、設定変更が必要なアドレスがあることを確認ください。

以下の例では172.16.10.14及び172.16.20.12がSNIPであることがわかります。

以降の手順では、172.16.20.12が対処すべき対象として設定変更を進めます。

IP Address	State	Type	Mode	ARP	ICMP	Virtual Server
▶ 172.16.10.14	Enabled	Subnet IP	Active	ENABLED	ENABLED	-N/A-
▶ 172.16.20.12	Enabled	Subnet IP	Active	ENABLED	ENABLED	-N/A-
▶ 172.16.10.100	Enabled	Virtual IP	Active	ENABLED	ENABLED	ENABLED

### SNIPの編集画面を開く

変更したいSNIPを選択し、[Edit]ボタンを押下します。

NetScaler > System > Network > IPs > IPV4s

IPV4s | IPV6s

Add | Edit | Delete | Statistics | Action

IP Address	State	Type	Mode	ARP	ICMP	Virtual Server
▶ 172.16.10.14	Enabled	Subnet IP	Active	ENABLED	ENABLED	-N/A-
▶ 172.16.20.12	Enabled	Subnet IP	Active	ENABLED	ENABLED	-N/A-
▶ 172.16.10.100	Enabled	Virtual IP	Active	ENABLED	ENABLED	ENABLED

NetScaler VPX (50) | HA Status: Not Configured | Info: NS11.0 67.12.nc | Logout

Dashboard | Configuration | Reporting | Documentation | Downloads

NetScaler > System > Network > IPs > IPV4s

IPV4s | IPV6s

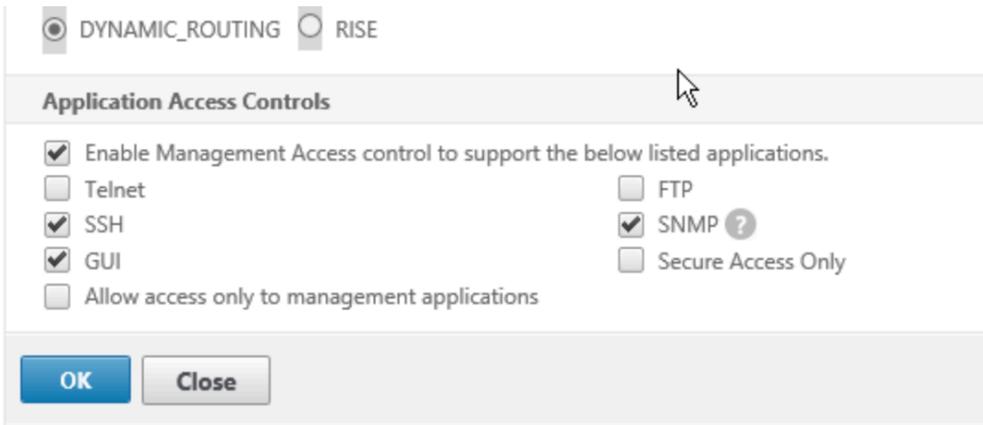
Add | Edit | Delete | Statistics | Action

IP Address	State	Type	Mode	ARP	ICMP	Virtual Server
▶ 172.16.10.14	Enabled	Subnet IP	Active	ENABLED	ENABLED	-N/A-
▶ 172.16.20.12	Enabled	Subnet IP	Active	ENABLED	ENABLED	-N/A-
▶ 172.16.10.100	Enabled	Virtual IP	Active	ENABLED	ENABLED	ENABLED

## SNIPの詳細設定を確認

編集画面を下にスクロールしていくと、"Application Access Controls"欄が表示されます。

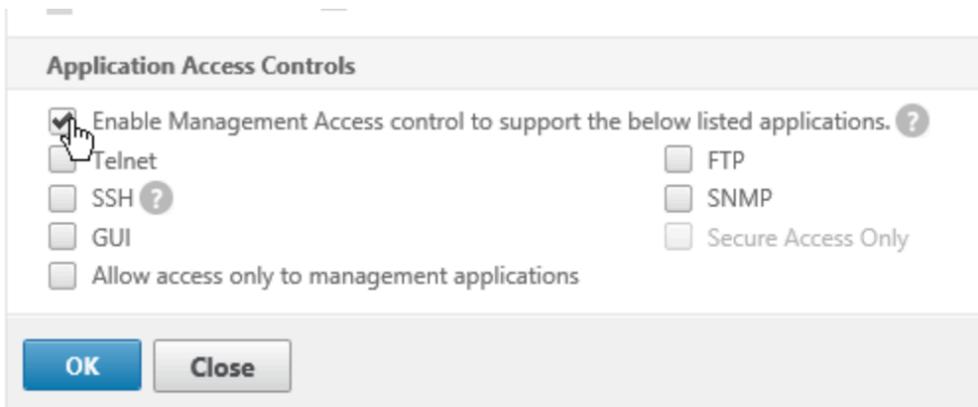
以下の例では、Enable Management Access、SSH、GUI、SNMPの4つがチェック(有効化)されていることがわかります。



## SNMPのmanagement accessを無効化

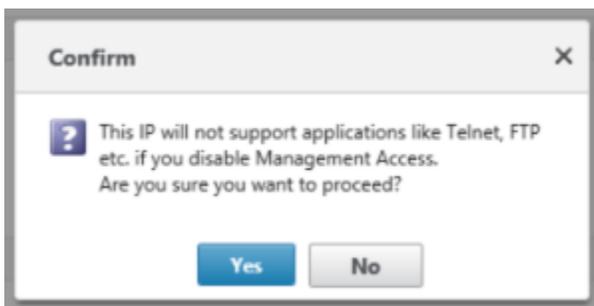
有効化されているオプションに対し、**チェックを全て外します**。

以下の例は、SSH、GUI、SNMPのチェックを外し、最後に"Enable Management Access"のチェックを外すところを示します。



確実にオプションを無効化するため、チェックを外す順番は"Enable Management Access"以外から実施することをお勧めします。

"Enable Management Access"のオプションを外す際、確認のポップアップが出ますので[Yes]を選択ください。



"Application Access Controls"欄が以下のように縮小表示され、チェックが外れていることを確認したのち、[OK]を押下します。

Virtual Server RHI Mode

DYNAMIC\_ROUTING  RISE

---

**Application Access Controls**

Enable Management Access control to support the below listed applications.



お客様が設定変更を行うためにアクセスしているSNIPに対して上記を実施しますと、ログインができなくなります。

まだ設定は保存されておりませんので、ECL2.0カスタマーポータルからNetScalerを再起動するなどして変更前の状態に戻すことができます。

## 無効化設定の確認 1

設定変更したSNIPを再度選択し、[Edit]ボタンを押下します。

NetScaler > System > Network > IPs > IPV4s

IPV4s | IPV6s

Add | Edit | Delete | Statistics | Action

IP Address	State	Type	Mode	ARP	ICMP	Virtual Server
▶ 172.16.10.14	Enabled	Subnet IP	Active	ENABLED	ENABLED	-N/A-
▶ 172.16.20.12	Enabled	Subnet IP	Active	ENABLED	ENABLED	-N/A-
▶ 172.16.10.100	Enabled	Virtual IP	Active	ENABLED	ENABLED	ENABLED

"Application Access Controls"欄が以下のように縮小表示され、チェックが外れていれば無効されています。

Virtual Server RHI Mode

DYNAMIC\_ROUTING  RISE

---

**Application Access Controls**

Enable Management Access control to support the below listed applications.

## 無効化設定の確認 2

無効化を実施したSNIPに対し、NetScalerの外部からssh、gui(http、https)でのログイン、snmpでの値取得を試み応答が返ってこないことを

確認ください。

お客様の環境に依存するため、例は載せておりません。

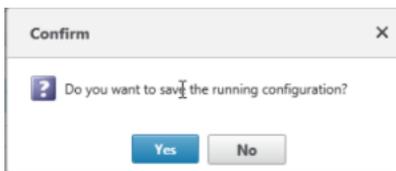
## 設定の保存

画面右上にフロッピーディスクのマークを押下します。



IP Address	State	Type	Mode	ARP	ICMP	Virtual Server	Traffic Domain
▶ 172.16.10.14	Enabled	Subnet IP	Active	ENABLED	ENABLED	-N/A-	10
▶ 172.16.20.12	Enabled	Subnet IP	Active	ENABLED	ENABLED	-N/A-	10
▶ 172.16.10.100	Enabled	Virtual IP	Active	ENABLED	ENABLED	ENABLED	10

確認のポップアップが出ますので[Yes]を選択ください。



本操作を実施しない場合、何らかの理由でNetScalerが再起動した際に変更した設定が全て元の状態に戻ります。  
必ず設定を保存するようご注意ください。

## CLIでの設定方法

以下操作は、NetScalerに対しsshでログインした場合の設定方法を記載します。

### 作業対象のSNIPを確認

```
show ns ip
```

を実行し、NetScalerに登録されているIPアドレスを確認します。

TypeがSNIPとなっているアドレスのうち、設定変更が必要なアドレスがあることを確認ください。

以下の例では172.16.10.14及び172.16.20.12がSNIPであることがわかります。

以降の手順では、172.16.20.12が対処すべき対象として設定変更を進めます。

```
> show ns ip
  Ippaddress      Traffic Domain Type      Mode  Arp  Icmp  Vserver State
-----
1) 172.16.10.14  10          SNIP    Active Enabled Enabled NA    Enabled
2) 172.16.20.12  10          SNIP    Active Enabled Enabled NA    Enabled
3) 172.16.10.100 10          VIP     Active Enabled Enabled Enabled Enabled
Done
```

## SNIPの詳細設定を確認

```
show ns ip "対象のIPアドレス" -td 10
```

を実行し、management access及びsshなどのオプション状況を確認します。

以下の例では、management access、ssh、gui、snmpがEnabledになっていることがわかります。

```
> show ns ip 172.16.20.12 -td 10
IP: 172.16.20.12
(中略)
management access: Enabled
telnet: Disabled
ftp: Disabled
ssh: Enabled
gui: Enabled
snmp: Enabled
(中略)
Done
```

## SNIPのmanagement accessを無効化

対象のIPアドレスでEnabledになっていたmanagement access及びsshなどのオプションを下記コマンドで無効化(Disabled)します。

```
set ns ip "対象のIPアドレス" -td 10 -ssh Disabled -gui Disabled -snmp Disabled -mgmtAccess Disabled
```

以下の例では、172.16.20.12に対して、management access、ssh、gui、snmpをDisabledに変更しています。

```
> set ns ip 172.16.20.12 -td 10 -ssh Disabled -gui Disabled -snmp Disabled -mgmtAccess Disabled
Done
```



お客様が設定変更を行うためにアクセスしているSNIPに対して上記コマンドを実施しますと、再びログインができなくなります。

まだ設定は保存されておりませんので、ECL2.0カスタマーポータルからNetScalerを再起動するなどして変更前の状態に戻すことができます。

## 無効化設定の確認 1

```
show ns ip "対象のIPアドレス" -td 10
```

を実行し、management access及びsshなどのオプション状況を確認します。

以下の例では、management access、ssh、gui、snmpが全てDisabledになっていることがわかります。

```
> show ns ip 172.16.20.12 -td 10
IP: 172.16.20.12
(中略)
management access: Disabled
telnet: Disabled
ftp: Disabled
ssh: Disabled
gui: Disabled
snmp: Disabled
(中略)
Done
```

## 無効化設定の確認 2

無効化を実施したSNIPに対し、NetScalerの外部からssh、gui(http、https)でのログイン、snmpでの値取得を試み応答が返ってこないことを確認ください。

お客様の環境に依存するため、例は載せておりません。

## 設定の保存

```
save ns config
```

を実行し、変更した設定を保存下さい。



本操作を実施しない場合、何らかの理由でNetScalerが再起動した際に変更した設定が全て元の状態に戻ります。

必ず設定を保存するようご注意ください。

## 改訂履歴

日付	版数	変更点
2017/9/27	1.0.0	初版